

# 感染症対策マニュアル

2020年6月2日作成

※内容は情勢の変化により変更する場合があります

## (1) エントリー資格

- ・ **熊本県居住者**に限る。

## (2) 開催条件

- ・ 開催地である熊本県において、**緊急事態宣言およびイベント自粛・外出自粛またはこれに類する要請が発せられていないこと**、もしくは開催当日までに解除になる見込みが明らかであること。

## (3) 中止を判断する基準・時期および参加費の取り扱い

- ① **7/1時点で緊急事態宣言およびイベント自粛・外出自粛またはこれに類する要請が発せられていて解除の見込みがない場合。**  
その場合、**手数料1,000円を差し引いた金額の返金する。**
- ② **7/2以降情勢の変化により開催条件を満たさなくなった場合**  
→参加費の返金有無および参加賞の取り扱いは物品の手配状況などを勘案した上で決定し、参加者に案内する。

## (4) 問診票の提出

- ・ 事前に送付される問診票に下記を記載の上ご持参頂く。
  - ①ゼッケンNo.・氏名
  - ②自宅出発前の体温
  - ③大会前2週間における以下の事項の有無
    - － 体調不良（発熱、咳、のどの痛み、だるさ、嗅覚や味覚の異常など）
    - － 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
    - － 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
    - － 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある※上記のいずれかに該当する場合は自主的に参加を見合わせて頂く。

## (5) 大会中および大会後

- ・ マスクやバフ等の口を覆うものを持参・携帯し、走行時以外は常に着用すること。
- ・ こまめな手洗い、アルコールによる手指消毒を行うこと。（特にトイレ後は念入りに）
- ・ 他の参加者やスタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること。
- ・ 大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ・ 感染防止のために主催者が決めたその他のルールを守り、その指示に従うこと。
- ・ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

## (6) 受付

- ・ゼッケンは予め郵送し、当日の受付は問診票提出と参加賞受け渡しのみに簡略化する。
- ・受付会場の入口に消毒液を配置し、手指を消毒した選手のみ受付に進むことができる。
- ・受付前にスタッフによる検温を行う。37.5℃以上の発熱がある選手は出走できない。
- ・スタッフによる検温は非接触型体温計を使用する。
- ・受付には透明ビニールカーテンを設置し、選手とスタッフが直接対面しない。
- ・参加者が距離を置いて並べるよう地面に目印を設置する。
- ・更衣室や待機スペースは用意しない。参加者は予め着替えてくるか、自分の車等を使用すること。

## (7) スタート時

- ・開会式および集合写真撮影は行わない。  
※協議説明など必要事項は事前の資料送付および受付会場でのアナウンスに代える。
- ・スタートはゼッケンNo.が若い順に50名ずつのウェーブスタートとする。  
(選手は事前に想定ゴールタイムを登録し、事務局はそれが早い順にNo.を割り振る)
- ・先頭のスタートを7：50とし、最後の組を8：00とする。
- ・スタート直前までマスク、バフ等で顔を覆い、  
周囲の選手とできるだけ2m以上間隔を空ける。

## (8) 走行中

- ・周囲の選手とは少なくとも2m以上間隔を空けて走行する。
- ・追い抜く時およびすれ違う時は最低1.5m、できれば2m以上間隔を空ける。追い抜く人は予め前走者に声をかけ、両者が協力して間隔を保つ。
- ・唾や痰を吐く行為は極力行わない。
- ・口をつけた飲料等を走路上に捨てない。

## (9) ウォーターステーション (WS)

- ・WSには消毒液を設置し、手指を消毒した参加者のみWSを利用することができる。
- ・WSには透明ビニールカーテンを設置し、選手とスタッフが直接対面しない。
- ・飲み物は選手がマイカップ等を差し出しスタッフが注ぐ。選手はWSの給水タンク等に触らない。またスタッフは選手のマイカップ等に触らない。
- ・応援者の立ち入り及び私的サポート（飲食物の提供やマッサージなど）は禁止。

## (10) フィニッシュ時

- ・完走証テントには透明ビニールカーテンを設置し、選手とスタッフが直接対面しない。
- ・表彰式、閉会式等の式典は行わない。
- ・大きな声での声援やハイタッチなどの接触は行わない。
- ・フィニッシュ後、休憩する選手にはマスク等で口を覆うことを促す。

## (1 1) 救護

- ・救護担当者が処置をする際は、その前後に必ず手を洗うかアルコール等で消毒する。  
(処置を受けた選手はその時点で失格)
- ・リタイア選手回収車両は座席に間隔を空け、また十分な換気をした状態で走行する。

## (1 2) スタッフ

- ・大会当日に選手と同等の間診票を提出する。体調不良など不適當な事項がある場合は無理せず参加を見合わせる。
- ・大会中は常にマスク等を着用し口を覆う。マスクは各自で持参する。
- ・活動を始める前、終了後は必ず手を洗うかアルコール等で消毒する。
- ・スタート／フィニッシュ地点およびWSには衛生管理担当者を配置する。  
担当者は各対策が守られているかチェックリストを用いて随時確認し、  
複数の人が触れると考えられる  
場所（トイレのドアノブやレバーなど）はこまめに消毒する。
- ・WSスタッフはビニール手袋を着用する。終了後は速やかに廃棄する。
- ・スタッフ同士及び選手とは2m以上間隔を空ける。握手やハイタッチなどの接触は禁止。
- ・スタート／フィニッシュ地点およびWSは予備の使い捨てマスクを設置する。  
ただし止むを得ない場合を除き、参加者およびスタッフへの提供はしない。

## (13) 一般応援

- ・送迎など特に必要な場合を除き、スタート／フィニッシュ地点およびWSには立ち入らない。
- ・コース上での応援は禁止しないが、その際はマスク等で口を覆う、選手との間隔を2m以上空ける、大声を掛けないなどの感染防止マナーに協力をお願いします。
- ・体調不良など感染を疑わせる事情がある場合は来場を禁止する。
- ・路上駐車など地域の迷惑となる行為は固く禁止する。